

山梨県中小企業経営革新サポート事業による支援事例

概要

外観検査機器の製造販売企業の販路開拓に係る支援

事業者名／設立	(株)MV Mate／H29年11月
主な事業	外観検査機器の製造、販売及びメンテナンス
資本金／従業員数	6百万円／3人（支援終了時）

支援期間	H29年6月～R1年9月
担当機関	都留市商工会
担当マネージャー	中村、河野

相談内容・支援内容

【相談内容】

- 装置メーカーでの経験を活かし、ニーズの高い画像検査を使ったシステムの起業。
- 起業間の無いため、県内企業向けに画像検査システムの導入などに関する販路先を探したい。
- 県内中小企業とのネットワーク構築したい。

【支援内容】

1 販路開拓の支援

創業間のなく、企業知名度が低く、画像処理の高度な知識とノウハウを活かすことができなかったため、支援機関を通じた顧客紹介の他、大手装置メーカーの担当者を紹介し、大手ではできないようなきめ細かなメンテ・アフターフォローなど企業の強みを活かした企業間のマッチングを支援した。

2 補助金を活用した開発支援

AI・ディープラーニングを使用した技術開発を行う資金が不足していたため、県中小企業市場開拓支援事業補助金を活用し、画像検査システムを開発した。

3 製造業とのネットワークを構築

県内で自動化や画像検査等の導入による生産性向上に取り組む製造業の研究会へ登録。自社の技術をPRや自社のネットワークの構築を支援。

支援成果

1 販路開拓による受注の増加

- 医療機器製造、食品製造、精密部品加工、自動機の設計・製作企業、大学などの担当者を紹介。
- 県内外からの受注が増え、今後の新規テーマ受注や売り上げ増加に確実に貢献
- 連携先となる大手装置メーカー等とのコネクションができ、顧客への提案の幅が広がった。
- 事業拡大に伴い、事務所を移転。技術者を1名雇用した。

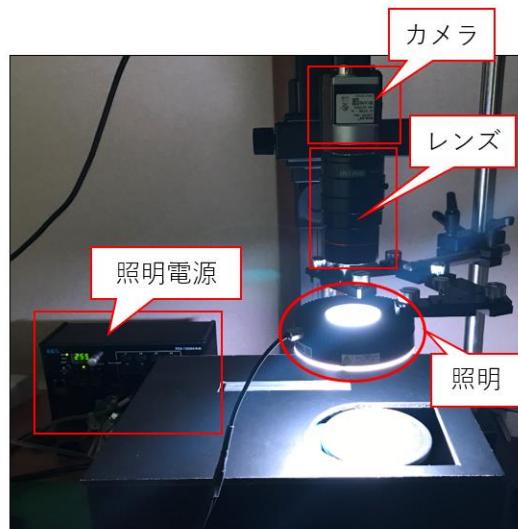
2 販促ツール（画像検査システム）の開発

- 県市場開拓補助金を活用しファルコンのディープラーニングソフト、カメラ、LED照明を購入
- 小規模事業者持続化補助金を活用し画像検査により「打痕と傷・付着物を判定するシステム」を開発。
- 開発した機器・ソフトウェアは山梨テクノICTメッセへの出展、技術検討等、販路開拓を行う上での営業ツールとして活用。

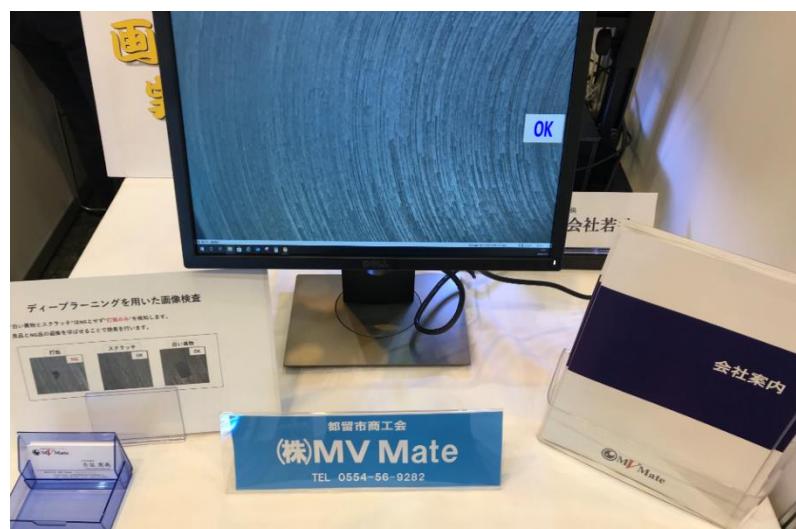
3 数値的成果

- 販路開拓により取引先が増え、70%以上の売上高増加を達成。今後、取引の増加や装置メーカーとの連携が期待される。

	売上高	対H30年9月	
		金額	割合
H30年9月決算	10百万円	—	—
R1年9月決算	17百万円	+7百万円	+70%



①補助金を活用して開発した画像検査システム



②画像検査 ソフトウェアシステムの開発